

事業名 : たじまコミュニティガーデン講座

団体名 : たじまコミュニティガーデンネット

## 1 事業内容

日時 11/2、12/15、2/9

場所 養父市民交流ひろば(養父市)、朝来市立生野交流館

内容 たねダンゴワークショップ、寄せ植え教室、ガーデンプレートワークショップ

### 【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
6月22日	キックオフミーティング	たじま高原植物園 (香美町)	5人
9月22日~ 29日	ひょうごまちなみガーデンショーin 明石 PR活動	明石公園(明石市)	5人
10月2日	チラシ配布(各道の駅、公民館等)	但馬各地域	3人
10月26日	寄せ植えワークショップ ミーティング	YB ファブ (養父市)	3人
11月2日	コミュニティガーデー講座 秋のたねダンゴワークショップ	YB ファブ (養父市)	20人
11月2日	コミュニティガーデー講座 寄せ植えワークショップ	YB ファブ (養父市)	10人
11月23日	寄せ植えワークショップ ミーティング	生野交流館 (朝来市)	3人
12月15日	コミュニティガーデー講座 寄せ植えワークショップ	生野交流館 (朝来市)	15人
12月29日	ガーデンプレートワークショップミーティング	多肉植物BASE (養父市)	4人
2月9日	コミュニティガーデー講座 ガーデンプレートワークショップ	YB ファブ (養父市)	15人
2月23日	終了ミーティング	たじま高原植物園 (香美町)	5人

## 2 事業の効果

### (1) 団体(組織)内の効果

- 講師経験のあるメンバーが少なく、今後は初心者にも楽しめるガーデニング講座や、緑花事業を活用したまちづくりについて、外部講師に依存することなく講習等を実施できる機会を創出する意欲が益々高まり、実際に、令和6年度内に会員による講師活動が2回行えた。
- イベントに参加することで、同様(植物を扱う)な会との交流を持つことができ、但馬地域で植物イベントの開催について等、今後の活動を考える良い刺激となった。

### (2) 地域への波及

- 生野交流館では、来年度以降、館の特別講習事業として、年3回程度のガーデニング講座を市に予算請求していただける予定になり、当会としてもサポートを継続していく。
- たねダンゴワークショップは、養父市民親子講座として、来年春に開催が決定した。
- 香美町立たじま高原植物園から依頼を受け、作品展及び、寄せ植えワークショップを開催することができた。
- 豊岡市但東町でオープンガーデンを開催されている団体と交流の機会があり、お互いに事業活動のサポートや協働について話し合うことができた。

### 3 協働の相手方

- 八鹿文化祭実行委員会委員会(養父市)… 八鹿文化祭出展のひとつとして、ワークショップを開催、PRなど協力
- 生野交流館(朝来市)…………… 寄せ植えワークショップを開催、募集チラシの地域回覧、予約の集約
- E-さわやか(養父市)…………… 寄せ植えワークショップの実施運営協力
- 多肉BASE(養父市)…………… モルタルワークショップの実施運営協力
- たじま高原植物園(香美町)…………… ミーティング場所の提供、PRの協力

### 4 今後の課題等

#### (1) 団体(組織)活動を継続するための工夫等

- 開催日に大雨警報が発令され、今回は用意した資材を講師が快く引き取ってくれたため、余剰を多く出さずにすんだが、それらも考慮した事業活動を考えていきたい。
- 資材高騰で、初心者でも気軽に参加できる参加費に抑えることが難しくなっている。会の法人化による卸値での資材購入や、種からの育苗等、資材費を抑える工夫が必要。

#### (2) 地域活動を拡大していくための工夫等

「園芸・緑化」を個人の活動とするのではなく、コミュニティ形成に活用できるツールとして、地域の方に周知することが必要。

「花と緑のまちづくり」を知ってもらうこと、「コミュニティガーデン」の有用性を知ってもらう機会を増やすために、ガーデニングイベントや緑化事業だけでなく、様々な活動やイベントに参加し、子どもから年配の方、福祉を必要とする方にも、自分のペースで楽しめるコミュニティ活動として園芸を楽しむ機会を増やしていきたい。



6年11月2日 たねダンゴワークショップ



6年11月2日 寄せ植えワークショップ



6年12月15日 寄せ植えワークショップ



7年2月9日 ガーデンプレートワークショップ